

レガシー形成候補(事業名)

戦国最強の武将「上杉謙信公」の魂が眠る戦国最強の山城「春日山城」の復元

地域名
新潟県 上越市
継続・新規の別
継続

レガシー形成の最終着地点

広大な山城の姿を復元することで、貴重な歴史的価値の「保存」と旅行者に感動を与えるための「活用」を推進する。レガシー形成を通じ、これまで地域住民が大切に保全してきた春日山城の姿を後世へ伝承するとともに、地域住民と旅行者とが交わる結節点とする。



『国指定史跡 春日山城跡保存管理計画書』(平成21年3月)抜粋

春日山城全景

レガシー形成のスケジュール

R6

- 春日山城エリア整備計画、総構復元の検討
- 文化庁協議、事業費算定等
- 「春日山地域観光有識者会議(仮)」の開催

R7~R8

- 春日山城エリア整備計画に基づく各施設の基本計画の策定及び設計
- 総構復元に向けた基本設計等

令和6年度の実行内容

- 春日山城エリア整備計画の検討
- 総構復元の検討
- 文化庁協議、事業費算定等
- 「春日山地域観光有識者会議(仮)」の開催
- 関係者への事業内容の報告会開催

独自性、旅行者を惹きつける要因・要素

戦国最強の武将「上杉謙信公」の居城として知られる春日山城(別名:鉢ヶ峰城)。本丸からの遺構が中断なく連続する稀有な山城であり、1607年、直江津港近くに福島城が新築されるまでの間、天然の要塞を持つ難攻不落の城とされていた。

史跡そのものの知名度は決して高くないが、特に日本の歴史・文化の“本物”を選好する訪日外国人客には魅力的であると考えます。

想定する連携団体・役割

- 地域団体(春日地区町内会長連絡協議会、春日山城跡保存整備促進協議会、春日山城史跡広場管理組合等)
- 地域事業者
- 上越市
- 上越観光コンベンション協会 など

各団体との連携により、地域一丸となってレガシー形成に取り組んでいく。

レガシー形成に向けて想定される課題

国史跡指定地であることから、文化財保護法により現状変更が制限されている。事業実施にあたっては、「国指定史跡春日山城跡保存管理計画書」に基づき、本市文化行政課や文化庁と協議しながら進める。